

主権者教育を推進する群馬県大学コンソーシアムに所属する学生チームは、
今年度2つのインタビュー活動を行いました。
今後4回にかけて、学生が作成したインタビュー記事を紹介していきます！

県職員インタビュー

各グループごとに興味のある県の施策を考え、その分野を担当する県庁職員にインタビューを行い、その後記事にまとめました。

県議会議員インタビュー

県職員インタビューの経験も踏まえ、群馬県議会議員に議会の役割や議員の仕事についてインタビューを行い、その後記事にまとめました。



◎第1回は「交通政策」についてインタビューを行った、
「Aグループ」の記事を紹介します！

県内市町村の選挙情報

選挙の種類	告示日	投票日	関連QRコード
館林市長選挙	3月16日（日）	3月23日（日）	

群馬県の交通政策について

Aグループ

「インタビュー先」交通イノベーション推進課

「職員の方」滝沢係長

「担当」高崎経済大学 今泉 友那

高崎経済大学 村上 未空



Q 課の仕事について教えてください。

交通イノベーション推進課は、県内の三つの私鉄（上毛線・上信線・わたらせ渓谷鉄道）の振興とMaas推進、路線バスやライドシェアの

推進を行っている部署です。

Q 職務経歴を教えてください。

平成六年に入庁し、都市公園である「敷島公園」の管理に関する仕事をした後、渋川合同庁舎にて選挙事務にも携わりました。また、新型コロナウイルスの健康観察や、東日本大震災の災害対策など様々な種類の業務の経験があります。

Q 群馬県の交通に関する新しい試みを教えてください。

これまでに關しては、既存の公共交通の確保・維持を行ってきました。現在はそれに加えて、ICT技術を活用した異なる交通機関同士の連携の強化やそれを利用者がより使いやすくなる手段の提供として『GunMaas（グンマス）』というものに取り組んでいます。

今ある移動資源をいかにして有効に繋いでいき、その情報を提供して使いやすくしてもらうか、ということに着目して取組を進めています。

Q GunMaasについて詳しく教えてください。

GunMaasは、群馬県内のバス・タクシー・鉄道などのチケットの予約・購入・利用をスマホでできるウェブアプリです。Maas推進係が中心になり、コストや方法を見極めながら連携先を広げようという取組を進めています。

Q 主に山間部に住む交通弱者に対する県の取

組や支援はどのようなことがありますか？

前提として、「群馬県交通まちづくり戦略」で定められているとおり、県は基本的に広域交通に關しての取組を主として進めており、同一の市町村内で完結するような地域内交通に關しては、基本的に各地域の市町村が主としてその取組を担っています。そのような役割分担がある中で、県としては市町村の取組を後方から支援していくような関わり方をしています。

場合によっては市町村の方から直接相談が来ることもあるので、その対応や助言を行うこともあります。また、新たな移動手段の導入を検討する市町村には専門家を派遣し、地元でワークショップをやってもらい、どのような交通モードが最善なのかを検討してもらうような取組も行っています。公共交通をその地域にとって適切なもの且つ持続可能なものにするためにはどのような形態が良いのかということを、導入する際に検討出来るような支援やお手伝いをするのが県の役割だと考えています。

Q 公共交通機関が効率的に機能していない地域に対し、何か対策等はしていますか？

地域公共交通会議という、地域の交通モードについて協議をする会議があり、その中で公共交通の効率化についても話し合いをしています。県もそのメンバーとして参加し、その検討が上手いにくいような助言や情報提供を行うという形

での関与を行っています。

また移動の手段がほとんど無くなってしまったというような地域に関しては、新規の移動手段支援事業で専門家を派遣することも行っています。

Q 今ある移動手段をより利用しやすくする取組などがあれば教えてください。

例えば、『バスはどこに行くのかよく分からない怖い乗り物だ』というイメージを払拭するために、バスの位置情報の可視化やバスの路線番号のナンバリングなどの取組を進めています。一目で見て分かりやすいものに少しずつでも変えていく、という意識が重要であると考えます。

Q 「群馬県交通まちづくり戦略」で社会システムのDX化に伴う交通機関の展望について触れています。この点について現在取り組んでいることはありますか？

まずはMaaSの取組が挙げられます。また、実際にバスなどの移動手段を利用した人のデータをどう活用するかが今後のポイントになってきます。ICカードシステムの導入が進んだことにより、どこから乗ってどこで降りたか、というようなデータが蓄積されてきています。そのデータを今後の見直しなどに活用できるのではないかと考えています。

Q バスの自動運転の取組について教えてください。

現在は、前橋駅から群馬県庁への自動運転の試行や、渋川市内の自動運転バスの試験運行などの取組をしています。今般は日本でも自動運転が開始してはいるものの、距離の短さや営業速度の低さが課題になっています。出来るだけ通常の路線バスを無人に近い形で運営できるようにすることを目指しています。

Q 群馬県では「快疎」という独自の将来像を掲げていますが、交通政策の観点では「快疎」とどのような関わりを持って取り組んでいくと考えているのかが知りたいです。

交通政策の分野から考えると、広域の移動手段を確保していくことが「快疎」というライフスタイルに寄与するところだと考えます。現在は広域の移動手段の大多数が自家用車というところになってしまっているのです、その広域幹線を不便がないように確保・維持していくにはどうしたらよいかということを考えることが重要だと思っています。

「編集後記」インタビューを終えて

緊張していたのですが、気さくに、丁寧に対応していただき、有意義な時間を過ごすことが出来ました。また、凄く面白く興味深いお話が聞けました。ありがとうございました。（今泉）

インタビュー自体初めての経験で、とても緊張しましたが、とても興味深いお話を聞くことができ、自分の疑問に思っていたことや知りたいことが解決し、とても良い経験になりました。ありがとうございました（村上）

（インタビューした日…令和六年八月二十七日）

〔インタビューした議員〕

追川徳信 県議

【担当】 高崎経済大学 小松原英志

高崎経済大学 村上未空



Q これまでの主な取り組みを教えてください。

倉渕は山間部が多く、高齢者にとって移動が大変だという問題を、実際に現場を見て感じていました。そこで、高齢者が荷物を持って坂道を移動しなければならない現状をどうにかしてほしいと委員会で見望したところ、一年経たないうちに「買い物支援バス」という制度の導入に繋がりました。他にも、倉渕内にあった三つの小学校が一つに統合するにあたって、高崎市内から遠い地域が衰退してしまうのではないかという懸念があったため、人が集まれる場所を

作ってほしいという案をいくつか出し、後の英語村の設置に繋がりました。

Q これから取り組みたいことはありますか？

倉渕は山間地域ということもあり人口減少が激しいのですが、倉渕に限らず群馬県全体の人口減少を食い止めることが必要だと考えています。また、新しい産業を積極的に取り入れていくことが必要だと思います。日本は今までと同じようなことをしていると、どんどんと立ち後れてしまうと思うので、今後は如何に新しい産業を生み出すか、あるいはそういった産業を引っ張ってくるのか、ということが重要だと考えています。

Q 人口減少を食い止めるために具体的に案はありますか？

特効薬的なものはないと思いますが、今やることとしては交流人口を増やすことだと思います。具体的には、先ほどお話しした英語村とか天文台、道の駅などです。あとは魅力発信することだと思います。倉渕では農業が盛んなので新規就農者にインタビューをして魅力を発信するのがいいと思います。

Q 議員になってみて、なる前に抱いていたイメージとのギャップはありましたか？

県議会議員は、町長や市長を目指している人が多くおり、熱意や意欲を持った若い人がひしめいているなと感じたことは印象的です。県議

員になった当初は、その年齢差に負けられないような努力を今まで以上にしていかなければならないと感じました。

Q 以前の県職員インタビューで、GunMaasという新たな取り組みを知ったのですが、この取り組みに期待していることはありますか？

GunMaasはまだ始まったばかりでこれからだと思いますが、一部の地域だけで無く、群馬県全体が公共交通を発展させていくという、同じ目標に向かっていくことが大切だと思います。また、アメリカや中国では、ボタンを押したら無人のタクシーを呼ぶことができる時代がやってきており、日本がいかに遅れているかが分かります。実証実験が始まりましたが、他の国に比べたらかなり遅れているので、もっと進めなければならぬと思います。

Q 理想の電車・バス路線を知りたいです。

私が常々考えており、議会で提案したことがあるのですが、複線になっている信越線の片側は今までの路線を走らせ、片側は短い間隔で停車する路面電車にすることが理想だと思います。例えば、高崎経済大学前や民家の前に停まるとさらに便利になるのではないかと考えています。また、山間部ではボタンを押したら迎えに来てくれるような交通手段も実現したらいいなと考えています。夢がなければ実現できないので、まず夢を常に訴えて、そのために努力すること

が大切だと考えています。

Q 学生時代には、どのようなことに熱心に取り組んでいましたか？また、学生時代に取り組んだ方が良いことはありますか。

勉強というよりは、遊びに熱心に取り組んでいました（笑）。若者には、先ほど言った通り、なんでもいいので大きい目標を持ってほしいです。それに向かって階段を登っていった欲しいです。去年、母校に行った時に「今の政治はだめだ。二五歳になったら、市会議員・県会議員・国会議員になって、今の政治を良くしたい。」と言ってくれた高校生がいて、捨てたものじゃないなと思いました。やはり、大きな目標を持つことで、実現に近づいていくと思うので、若者には大きな目標を持ってほしいです。一生懸命遊ぶことも大切ですけどね（笑）。

Q 休日はどうのように過ごしていますか？県議会議員にお休みはあるのですか？

はっきり言ってお休みはあまりありません。もちろん平日は議会があつて空く日もありますが、家族との予定が合わないことが多いです。土日は、様々なイベントがあるので、なかなか休みが取れません。時間があるときは、地元の人や色々な人たちと会って、直接自分の考えや話をし、コンタクトを取ることもあります。こうした時間をとるかからないかは自由ですが、私は人口の少ないところで育って議員になって

いるので、色んな人とあつて話をしないと伝わらないと考えています。人口の多い場所だと大勢の方が投票してくださいますが、人口の少ない地域だとそうはいかないので、色んな人と直接話すことを大切にしています。

Q 群馬県内に好きなスポットはありますか？

私がよく行くのは、草津や白根山、伊香保、榛名神社です。特に、榛名神社はパワースポットと言われていて、良いなと思います。榛名湖も季節によって景色が変わるのでおすすめです。どのようなスポットであっても、このような魅力をもつと発信できるようにし、観光客を集めることができればいいと考えています。

Q くらぶち草の会について教えてください。

くらぶち草の会とは、有機栽培を行っている農業者グループです。新規就農者支援を行っており、天候の問題や売り先・流通まで全て指導してくれるので、東京や色々な場所から四〇人程の方が倉渕に移住してくださっています。機会があつたら是非行ってみてください！

Q 若者の投票率が問題になっていますが、その原因と対策について教えてください。

投票率の低下は、簡単に言うとうと政治離れから起こっていると思います。ただ、兵庫県知事選挙などは、若者がSNSなどの色々な媒体を駆使して情報を取り入れ、投票に参加すれば結果が変わることが分かった重大な出来事だと思い

ます。これは若い人の力であり、色々な媒体から情報を得て、考えを持って投票した結果です。投票により若者が社会を変えることができるので、政治に関心を持ち意見を持つようにしてほしいと思いました。また、教育も大切だと思います。小学校・中学校・高校で選挙についてより勉強する機会を増やし、また、若者の行動で社会に影響を与えた事例などを教えれば、必ず選挙に行った方が得だと思えます。このような良い影響を与える事例を学生さんには発信してほしいと思います。

【編集後記】インタビューを終えて

議会の傍聴は一度したことがあるのですが、議員の方とこれだけ長い時間お話しさせていただいたのは初めてで、普段のお仕事の様子や思いなどをお聞きすることができてとても勉強になりました。（小松原）

議員さんから直接お話を聞くことができる機会は少ないと思うので、とても勉強になりました。追川さんのお話を聞いて、常に大きい夢を持って行動し実現するために一生懸命努力したいと思いました。また、休日の過ごし方なども聞くことができ、議員さんの新たな一面を知ることができました。（村上）

（インタビューした日…令和六年十二月四日）